

呉工業高等専門学校

数理・データサイエンス・AI教育プログラム

令和4年度自己点検・評価結果（1）

評価日時：令和5年5月11日

会議名称：自己点検・評価委員会

開催場所：呉工業高等専門学校

目的：呉工業高等専門学校数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）の令和4年度の自己点検・評価

自己点検・評価の視点	自己評価	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
プログラムの履修・修得状況	A	履修状況は、教務係に提出された履修届、修得状況は電子出席簿による出欠により把握できる。
学修成果	B	学修成果の状況については、教務係より各期末修了時に教員全員に配付される成績一覧表において把握できる。また、各科目の学修成果は、シラバスに示した評価方法に基づき、定期試験やレポート等により、適切に成績評価がされている。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解	B	各学生の当該授業習熟度は、教学IR室で行われる学習成果アンケート及びその分析により把握できる。また、このアンケート結果を教員相互で確認し、授業担当者間により次年度以降の授業改善を図る。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨	B	教務係が各期末修了時に実施する学生への授業アンケートは、全学生へ公表されており、このアンケート結果を通して、後輩等他の学生は、当該科目に対する自らの推奨度を確認できる。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	B	本教育プログラムを構成する科目については、従来から開講している関連科目の中で実施しているので、全学生が数理・データサイエンス・AI教育関連プログラムを履修することになる。各学科における教育の内容について、各専門分野からの観点も取り入れ見直し等を検討する。令和8年度に履修率は100%になる予定であることを教務委員会で今後確認する。

A：自己点検・評価の視点を上回る成果を達成できた。

B：自己点検・評価の視点の通り、成果を達成できた。

C：自己点検・評価の視点の通りの成果を達成できなかったが、達成に向けての対応策が立案され、対応に着手している。

D：自己点検・評価の視点の水準まで成果を達成できなかった。さらに、達成に向けた対応策が立案されていない。

呉工業高等専門学校

数理・データサイエンス・AI教育プログラム

令和4年度自己点検・評価結果（2）

自己点検・評価の視点	自己評価	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	C	卒業生調査を卒業後5年目を実施し、本教育プログラムを修了した卒業生の進路先や活躍状況を調査する。また、民間企業、地域行政団体に対して企業調査を実施し、本教育プログラムを修了した卒業生における採用状況や企業評価を把握する。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	C	平素から本校と連携している広島県内DX推進企業に対してアンケートを実施し、教育プログラムの講義内容及び実データを活用した演習等の手法について意見を収集するとともに、教務主事を中心として数理・データサイエンス・AI教育プログラムの改善に活用する。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	C	本校と連携している広島大学情報系教員や、広島県内DX推進企業技術者の方々にスポット的講義を依頼し、AIに関する社会での実例紹介講義を企画し、さらに興味を持つ学生に対しては、AI・数理サイエンスに関する集中講義・演習を実施し、学生のスキルをさらにレベルアップさせている。一連の活動に関しては、AI・数理データサイエンス理解度調査アンケートを実施し、その内容について評価を行っている。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	C	授業アンケートで「分かりやすさ」等の総合的な授業評価を行うと共に、教学IR室にて、学生アンケート及び提携企業からの意見を参考にデータを分析し、自己点検・評価委員会専門部会において、学生の「分かりやすさ」の観点から、講義の内容・実施方法の見直し案を提案し、各部署において当該内容を検討を行う予定である。

A：自己点検・評価の視点を上回る成果を達成できた。

B：自己点検・評価の視点の通り、成果を達成できた。

C：自己点検・評価の視点の通りの成果を達成できなかったが、達成に向けての対応策が立案され、対応に着手している。

D：自己点検・評価の視点の水準まで成果を達成できなかった。さらに、達成に向けた対応策が立案されていない。